

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

|      |              |
|------|--------------|
| 担当課係 | 商工観光課 商工観光担当 |
|------|--------------|

|            |             |                   |        |   |             |  |
|------------|-------------|-------------------|--------|---|-------------|--|
| 事務事業名      | 観光・イベント振興事業 |                   | 事業予算費目 |   |             |  |
| 総合計画上の位置付け | 政策          | ③ 未来への活力を育むまちづくり  | 款      | 7 | 商工費         |  |
|            | 基本目標        | 7. 活気あふれるまちづくり    | 項      | 1 | 商工費         |  |
|            | 施策          | 7-2 観光交流によるにぎわい創出 | 目      | 4 | 観光費         |  |
|            | 基本方針        | 7-2-1 観光の振興       | 事業     | 1 | 観光・イベント振興事業 |  |

■事務事業の概要（PLAN）

|       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| 事業の目的 | 観光イベント等を行い、観光客を呼び込むことにより、地域の賑わいの創出や観光・交流の場を広げ、地域や観光地等の活性化につなげるとともに、観光案内所運営、観光イベントの実施、ボランティアガイドの育成、マスコットキャラクターを活かした観光PR等により、観光客の多様なニーズに応え、観光客の増加を目指す。 | 事業の内容 | 小松島港まつり等の観光イベント主催団体への補助や、小松島観光物産協議会等の関係団体と連携し、小松島市観光ビジョンに沿って観光振興事業を展開する。また、徳島東部地域市町村が有する自然や歴史・文化等、様々な観光資源の発掘・魅力向上を図ること、圏域での観光エリアを形成し、宿泊、体験型観光、地元素材の特産品化などを引き続き実施し、関連産業の振興を図る。これに加え、DMOを中心として関係市町村と域内で連携し、観光振興の推進を図る。 |
|-------|--|-------|--|

■事務事業の業績・推移（DO）

|       |   |            |            |            |            |              |        |
|-------|---|------------|------------|------------|------------|--------------|--------|
| 成果指標  | 指標名                                     | 単位         | 実績         | 実績         | 目標         | 目標           |        |
|       | イベント客数及びむ観光案内所利用数                       | 人          | R2         | R3         | R4         | R5           |        |
|       | 指標の説明<br>小松島港まつり集客人数及びJR南小松島駅内観光案内所利用者数 |            | 目標         | --         | --         | 12,000       | 12,000 |
|       |   | 実績         | 2,021      | 2,142      |            |              |        |
| 関連事業費 |   |            | R2年度決算     | R3年度決算     | R4年度予算     | 市民一人あたりのコスト  |        |
|       | 財源内訳                                    | 事業費        | 15,738,629 | 15,420,665 | 28,174,000 | R2           | 423    |
|       |   | 国県支出金      | 6,760,000  | 2,528,540  | 9,361,000  | R3           | 421    |
|       |   | 地方債        |            |            |            | 各年度4月1日現在の人口 |        |
|       |   | 利用者負担・その他  | 1,200,000  |            | 2,000,000  | R2           | 37,243 |
| 一般財源  | 7,778,629                               | 12,892,125 | 16,813,000 | R3         | 36,670     |              |        |

■評価（CHECK）

|        |   |           |        |   |
|--------|---|-----------|--------|---|
| 事業の方向性 | ○ | 拡 充       | 縮小して継続 | 判定理由<br>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により各種イベントなどが本年度も中止となった。事業自体は縮小されたが、アフターコロナを見据え、県内外から観光客の入込みを図るため、感染状況を見極めながら、引き続き事業を推進していく。隣接の市町村と連携してPRをすることにより、本市の観光振興をより効果的に図っていく。 |
|        |   | 改善・効率化し継続 | 休止・廃止  |   |
|        |   | 現状のまま継続   | 完了     |   |

■改善・効率化の方向性（ACTION）

|        |   |
|--------|---|
| 今後の課題  | 新型コロナウイルス感染症の影響も最小限に抑えながら、少しずつではあるが、イベントを再開させていく必要がある。しかしながら、感染症対策との両立が必須であり、事業の選択が必要となってくる。今後はアフターコロナを見据え、市民参加型のイベントの実施や県外イベントへの参加を充実させる必要がある。   |
| 今後の方向性 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大で大規模なイベントの開催が困難であったが、感染症対策を実施しながらイベントを開催できるようになった。アフターコロナを見据え、小松島市観光物産協議会を中心に特産品や体験型観光等のPRや情報発信を進めていく。そのうえで、隣接の市町村とも連携をしながら観光資源の再創出を図っていく。また、「イーストとくしま観光推進機構」と連携し、アフターコロナを見据えた事業を推進する。 |